

副指導教員制の導入について
－ 幅広い博士人材の養成に向けて －

平成 22 年 6 月 18 日
GMSI拠点リーダー 光石 衛

GCOE「機械システム・イノベーション国際拠点」(GMSI)では、幅広い博士人材の養成に向けて、「副指導教員制」を導入します。本制度は GMSI 教育プログラム履修生に、現指導教員に加えて「副指導教員」の指導を受けられる機会を提供するものです。つきましては、副指導教員制を下記の指針で実施しますので、GMSI 教育プログラム履修生の皆さんは現指導教員と相談の上、志望調査を提出してください。

記

1. GMSI副指導教員制について

- (1) <対象>GMSI教育プログラム履修生(D1, D2)は、自分の指導教員の外に副指導教員の指導を受けることができる。2010 年度の副指導教員の範囲は、GMSIの事業推進担当者と教育研究分担者の中の課程担当専任教員とする。副指導教員については『2010 年度GMSI 副指導教員一覧表』で確認する事。
- (2) <分量>標準的には、D1, D2 の 2 年間にセメスター単位で 2 回の副指導教員制を活用することができる。また、副指導を担当する教員の許可があれば継続も可能とする。
- (3) <単位・配点>受講による単位はない。配点は 5 ポイントとする。
- (4) <活動>副指導教員の指導を受ける活動の内容や頻度などは、GMSI 教育プログラム履修生と副指導教員が協議して決定するので、各自自主的・積極的に取り組む事。副指導については以下の内容が考えられる。
 - ① 副指導教員をある頻度で訪問し、博士論文研究へのアドバイスをもらう。
 - ② 副指導教員から短期向けテーマをもらい、指導を受けながら実践、報告する。
 - ③ 副指導教員の研究室の研究会に参加し発表や討論などを行う。
- (5) <成果>副指導教員指導下の研究活動を通して以下の様な成果が期待される。
 - ① シーズとニーズの出会いによる新しい研究テーマの発掘やこれを契機の共同研究
 - ② 実験とシミュレーションの組み合わせによる研究の進展
 - ③ それまでなかった新しい学会への共著論文の発表、新しいジャーナルへの投稿
 - ④ その他

(6) <規模>

- ① 2010年度(GMSI教育プログラム履修生125名, 事業推進担当者24名, 教育研究分担者(講師以上, 特任除く)24名)

2. 準備と手続き

GMSI教育プログラム履修生は, GMSIホームページ(<http://www.mechasys.jp>)などを参考に現指導教員と相談して, 「2010年度GMSI副指導教員一覧表」(別添1)の中から希望する副指導教員を選択する。

- (1) 「副指導教員配属志望調査票エクセルファイル」をGMSI事務局に提出, これに基づいて全体調整の上, GMSI拠点リーダーが副指導教員を指名する。
- (2) 配属決定後, GMSI教育プログラム履修生は副指導教員と連絡を取り, 対象セメスターの活動内容を協議する。

3. 副指導教員制を利用した緒活動と実施報告

- (1) GMSI教育プログラム履修生は副指導教員との相談をもとに研究活動実施計画を立案し, 計画書をGMSI事務局に提出する。
- (2) 実施後学期末までに, 副指導教員制活動実施報告書をGMSI事務局に提出する。報告書には活動記録や成果を記載し, 副指導教員のコメントを付す。

以上